



互いを尊重したコミュニケーションで 円滑な人間関係を築いていこう!

—「2025労組リーダー
セミナー」を開催—



写真上/講師 岡本 悠希さん

主催者あいさつ



山口一樹会長

司会



安藤光平執行委員

閉会あいさつ



山崎 睦副会長

グループワーク&発表の様子



連合鳥取は、8月23日(土)、「2025労組リーダーセミナー」をエースパック未来中心(倉吉市)において開催しました。各産別より若手中堅役員34人と、連合鳥取広報・教育局役職員13人の合計47人(うち女性11人・女性参画率23.4%)が参加し、「人間関係改善セミナー」と題した講演を聴き、グループワークを行いました。

■主催者あいさつ(抜粋)

山口一樹会長

労働組合・労働運動に対する意識の希薄化が懸念される今、労働者・生活者の声を届ける労働組合の必要性が問われている。本日の講演で得たものを組織に持ち帰り、それぞれの立場で活用していただく中で、労働組合として一役を果たし、労働組合の存在意義を伝えていただきたい。

■講演

「人間関係改善セミナー」

「気質コーチングとアサーションスキル」

講師

J. union 株式会社
岡本 悠希さん

冒頭「本日は「自分と他者の気質の違いを理解し、お互いを尊重したコミュニケーションを通じて、円滑な人間関係を築けるようになる」というような場にしていただきたい」と研修の目的について説明されました。

続いてグループごとに自己紹介を済ませた後、研修前半は「気質コーチング」について学びました。『気質について』は、①気質ってどんなもの? ②気質を活かした生き方 ③本日の気質論についての3点について解説されました。まずは、「自分の気質を理解するために、留意された設問に對し自己得点化を行うことで、自分の気質について理解した後、振返りを行うとともに、反対に『相手の気質を理解することの重要性』

さに触れられ、同様の設問形式で仮想の相手がどのような気質であるかを調べ、相手の気質を理解することについて学びました。

後半は「アサーションスキル」について学びました。「アサーション」とは「自分も相手も大切に伝える伝え方について解説をいただき、『3つの自己表現』では、主張行動を軸に非主張行動と攻撃行動があること、また「アサーティブ」に表現するポイント」では「(アイ)メッセージで、自分の要求を伝える+提案すること、相手の意見や気持ちも尊重することが重要であることをグループワークで意見交換を交えながら学びました。

最後に振り返りでは、「日常生活でも気質を活かし、人間関係に悩むことがあれば気質を参考にしたい」ということも一つのポイント。また、相手が受け取りやすいように提案型で言い換えることも重要である。本日の気づきの中から「やってみよう」と思ったことを是非実践していただきたい」と結ばれました。

■まとめ・閉会あいさつ(抜粋)

山崎 睦 副会長

リーダーとして人との付き合い方、スキルについてたくさん学びがあった。参加のみなさんもここからが本番。研修で得たことを職場に持ち帰っていただき、様々なことにチャレンジしてほしい。そして将来の連合鳥取を担う人財へと成長していただくことを願う。

紙バ連合王子製紙新労働組合
戸川 拓実さん



今回のセミナーで学んだ「気質コーチング」では、自分や相手の持っている特性を理解することで、人間関係のすれ違いや誤解を防げる点が印象に残った。
また、自分も相手も尊重する伝え方を大切にしたいと思った。今後、自分の言動を少しずつ見直し、相手とのよりよい信頼関係を築いていきたい。

全水道鳥取支部
永田 琢己さん



今回、人間関係改善セミナーに参加した。
人間関係を考えるうえで、自分の気質や相手の気質を考慮すること、また、相手を尊重して押し付けるような言い方をしないことなど、今後の自分に活かすことができるお話が聞けた。
今回の研修で、より一層仲間との良好な関係につなげることができるといった。

参加者の声

別紙「連合鳥取2026年度政策・制度要求」もご参照ください

鳥取県最低賃金 **時給 1,030円**「73円引き上げ」に! (10/4発効予定)

2025年度の地域別最低賃金

単位は円。各地の答申に基づく

引き上げ額	都道府県(ランク)
80円	秋田(C)
79円	岩手(C)
78円	群馬(B) 長崎(C)
77円	愛媛(B)
76円	青森(C)
74円	佐賀(C)
73円	鳥取(C) 鹿児島(C)
71円	島根(B) 高知(C) 宮崎(C) 沖縄(C)
70円	石川(B)
69円	茨城(B) 福井(B)
66円	徳島(B) 香川(B)
65円	広島(B) 北海道(B) 福岡(B) 奈良(B) 新潟(B) 岡山(B) 和歌山(B) 宮城(B)
64円	千葉(A) 京都(B) 兵庫(B) 三重(B) 栃木(B) 岐阜(B) 富山(B) 山梨(B)
63円	東京(A) 神奈川(A) 大阪(A) 埼玉(A) 愛知(A) 静岡(B) 滋賀(B) 長野(B)

※県名の下が空白の県は9月2日の時点で未決定の県です。

※2025年10月1日から順次発効となります。発効日は都道府県によって異なります。

佐賀 1,030	福岡 1,057	山口 1,043	島根 1,033	兵庫 1,116	京都 1,122	福井 1,053	岐阜 1,065	長野 1,061	山梨 1,052	東京 1,226	千葉 1,140
長崎 1,031	熊本 1,023	広島 1,085	岡山 1,047	奈良 1,051	和歌山 1,045	三重 1,087	愛知 1,140	静岡 1,097	神奈川 1,225		
沖縄 1,023	鹿児島 1,026	愛媛 1,033	香川 1,036	大阪 1,177							
		高知 1,023	徳島 1,046								



最低賃金 2025.9.2時点

北海道
1,075青森
1,029
秋田
1,031
岩手
1,031
山形
1,038
宮城
1,038福島
1,068
栃木
1,068
茨城
1,074
埼玉
1,141
群馬
1,063
長野
1,061
山梨
1,052
東京
1,226
千葉
1,140

今年度の審議は中央審議会からの目安提示が8月4日と大幅に遅れる異例な状況で、各地方審議会が影響を受ける中、鳥取の審議会は目安が示されていない7月31日から専門部会で公労使が真摯に議論し、8月8日に全会一致できたことは各地方審議会の結果を見ても評価できる内容でした。

新改定額は、8月26日の異議申立審議を経て、10月4日(土)発効予定です。

2025春季生活闘争「最終集計」発表 (2025.8.4)

2025春季生活闘争は、四半世紀に及ぶ慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せ、新たなステージをわが国に定着させることをめざす闘争と位置づけ、「人への投資」をより一層積極的に行い、賃金と物価の好循環を実現すること、また、適切な価格転嫁・適正取引の徹底、取引慣行の醸成を求めること、地域間・企業規模間などの格差改善に取り組む闘争となりました。

7月末の最終取りまとめでは、平均賃上方式加重平均で12,236円の賃上げ(昨年比386円増)と、連合鳥取結成以来となった昨年以上に高水準となる賃金引き上げ要求と回答を得ることができました。賃上げの背景には、物価上昇のみならず、人材確保の必要性も要因と思われますが、一時金の引き上げにおいては濃淡のある結果となりました。

連合鳥取2025春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 [2025.7.31現在集計]

※昨年同時期(2024.7.31)と比較

1. 賃金要求提出状況

登録組合数 2025春闘: 102組合 2024春闘: 106組合

	2025春闘	2024春闘
◆提出せず	6	2
体系維持分を確保	組合数 537	組合員 29

	2025春闘	2024春闘
◆人動準拠	組合数 1	組合員 4
	組合数 169	組合員 188

	2025春闘	2024春闘
◆組合員の賃金実態把握	把握している 71	把握していない 13

	2025春闘 (2025.7.31)			2024春闘 (2024.7.31)		
◆提出した	平均方式	個別方式	合計	平均方式	個別方式	合計
組合数	75	8	83	80	11	91
組合員	10,502	1,345	11,847	11,155	1,945	13,100

	2025春闘	2024春闘
◆未提出	組合数 0	組合員 1
	組合数 0	組合員 20

	2025春闘	2024春闘
◆回答・妥結	組合数 82	組合員 91
	組合数 11,843	組合員 13,100

	2025春闘	2024春闘
◆ストライキ権	確立している 32	確立していない 47

2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

2025春闘 (2025.7.31)															2024春闘 (2024.7.31)															昨年対比	
平均賃上げ方式		組合数	組合員数	体系維持分		賃金改善分		合計		組合数	組合員数	体系維持分		賃金改善分		合計															
				額	率	額	率	額	率			額	率	額	率	額	率														
加重平均	従業員	計	67	8,743	4,089	13,353	16,508	6.65	67	9,222	4,159	10,838	14,588	5.91	1,920	0.74															
	300人以上		17	5,397	4,438	12,626	15,908	6.41	17	5,737	4,351	11,374	14,996	5.93	912	0.48															
	299～100人		22	2,640	3,653	14,368	17,921	7.13	22	2,694	3,882	10,079	14,215	6.09	3,706	1.04															
	99人以下		28	706	3,808	13,228	15,696	6.37	28	791	3,588	9,154	12,519	5.08	3,177	1.29															

3. 回答・妥結状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式		2025春闘 (2025.7.31)				2024春闘 (2024.7.31)				昨年対比		
		組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計				
				額	率			額	率			
加重平均	従業員	計	66	8,739	12,236	4.62	67	9,222	11,850	4.66	386	▲ 0.04
	300人以上		17	5,397	12,681	4.61	17	5,737	13,230	5.06	▲ 549	▲ 0.45
	299～100人		22	2,640	12,548	4.98	22	2,694	9,933	3.95	2,615	1.03
	99人以下		27	702	7,239	3.08	28	791	7,742	3.53	▲ 503	▲ 0.45

プレスリリースの様子



倉吉市・北栄町議会議員選挙 推薦決定

連合鳥取は、「持ち回り執行委員会（9月1日～4日）」において、倉吉市議会議員選挙（9月28日告示・10月5日投開票）と、北栄町議会議員選挙（9月30日告示・10月5日投開票）に下記の予定候補者を推薦することを決定しました。

（告示日時点の年齢/経歴/推薦依頼組織）

倉吉市 ふくい やすお 福井 康夫（75歳/現10期/立憲民主党） 北栄町 みのはら みゆり 蓑原 美百合（73歳/現1期/立憲民主党）



福井康夫さん



蓑原美百合さん

平和特集 (フォトニュース)

連合鳥取ピースウォーク

東部地域【7月28日】
さざんか会館：140人参加



真剣に耳を傾ける参加者

中央(中部)【7月25日】
倉吉体育文化会館：80人参加



JR倉吉駅までの
平和行進でアピール

西部地域【8月2日】
米子市文化ホール：130人参加
市内街頭ビジョンで動画上映/4カ所



参加者全員でアピール

連合中国ブロック平和キャラバン隊で「平和の尊さ」を訴える!!

今年は「戦後・被爆80年」の節目の年であり、来年、NPT再検討会議が開催予定であることを踏まえ、中国5県の地方連合会が共同で「平和キャラバン隊」を編成し、7月28日（月）から8月1日（金）にわたり、キャラバンカーで広島を起点・終点に、5県をリレーしながら核兵器廃絶と平和を訴える活動（各行政への要請、街頭での署名活動など）を行いました。

鳥取では7月30日（水）に連合岡山から連合鳥取へ引き継がれ、連合鳥取事務所のある鳥取県労働会館で出発式を行った後、JR鳥取駅前「核兵器廃絶1000万署名」への参加を訴えました。続いて鳥取県庁へ出向き、「若い世代に伝えていくための活動」などを求める知事宛ての要請書を手渡しました。その後、中部地域、西部地域でそれぞれ役員も合流し、街頭で署名活動を行いました。

最後に連合島根へバトンを渡し、鳥取での取り組みを終えました。



連合岡山からバトンタッチ! 出発〜!!



JR鳥取駅前での署名活動



鳥取県庁にて
写真上/要請書手交



JR倉吉駅前で署名活動

連合平和行動に参加

平和行動in沖縄
[6月23日～24日：3人参加]



ピース・フィールド
ワークに参加

「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の
抜本見直し」を求める集会とデモ行進に参加

平和行動in広島
[8月5日～6日：16人参加]



広島平和公園
フィールドワーク

「被爆80年
連合2025
平和ヒロシマ集会」で
折り鶴献納

平和行動in長崎
[8月8日～9日：11人参加]



連合平和ナガサキ
集会会場にて

連合2025平和ナガサキ集会

長崎平和公園



湯原 俊二

— 緑肥の想い —

戦争の被害者は、国民。

広島、長崎へ原爆が投下されてから、そして終戦から今年で80年が経ちました。日本だけでも310万人が亡くなりました。愛する家族や友人がおり、また生きてやりたかった人生があったことと思います。それを戦争によって無理やり断たれたわけです。戦争は、為政者が自衛のためとしてはじめ、被害者は罪のない子どもを含む一般の国民です。ウクライナ、ガザも同じです。

先の日米開戦前に総理直轄の総力戦研究所は、日本は米国との国力の圧倒的な差により戦争に負けるとシミュレーションしました。しかし時の為政者は戦争を始めてしまいました。

核武装が安上がりだという国会議員たちが、時の為政者であったA級戦犯が合祀されている靖国神社に参拝します。私は分祀をするべきと考えます。

戦争を知らない国民が大多数になり、戦争の悲惨さをいかに次世代に繋げていくか大変大きな課題です。

湯原さんのホームページ・
Facebookもご覧ください

湯原俊二

検索

二次元コードからも
つながります▶



JRJR西労組米子地方本部
「第35回定期大会」(2025.8.22)



2025 西部地協ピースウォーク
(2025.8.2)



街頭にて訴える(2025.7.19)

“ザ・議員”

あ だ ち た か し 足立 考史 鳥取市議会議員

カスタマーハラスメントについて、令和元年12月議会で対策を尋ねました。

「職員に過度な負担にならないように警察へ委ねることも含めて組織として対応する」とありましたが、近年、公務員職場での被害がメディアに取り上げられ、組合の要請もあり、当局が職員に対しカスタムハラ実態調査アンケートを実施された内容について9月議会で深堀をして、名札のフルネーム・写真入りを廃止し、名字標記にするなど実態に即した対策を講じるようにしました。また、今年度より「鳥取市カスタマーハラスメント対応マニュアル」が策定されました。

併せてTPOを念頭に置いたうえで、1年を通してノーネクタイ・ノージャケットで通常業務ができるようになりました。



質疑中の足立市議会議員

い と う 伊藤 ひろえ 米子市議会議員

大変お世話になっております。組合員のみなさまには、これまでのひとかたならぬご尽力に心から感謝申し上げます。

私は「安心して子どもを生み育てられる米子市」実現に向けて、日々奔走しております。

2023(令和5)年より、里親ファミリーホームを立ち上げ、現在10代女子4人と暮らしています。社会的養護を必要とする子どもたちの自立支援、教育機会の確保、退所後の支援体制の構築への取り組み等「社会的包摂」の観点からも重要だと日々感じていますが、その制度や社会資源はまだ不足しています。

職業体験を積み重ね、誰もが「働くことを軸とする安心社会」を実感できるよう取り組んでまいります。それには、さらに連合の組合員のみなさまとの連携を強めて、ともに地域を創っていきたいと思います。



10代女性と話す様子。
※政治についても話す機会をもっています

みなさんは「お米」を研いだことが
ありますか？▼「何を言っている？」
と思われる方もいると思うが、ある日突然ふつうの生活ができなくなる。そんなことを考えたことがあるだろうか▼日々の暮らしの中で、当たり前のように過ごしてきた時間、仕事を終え帰宅するとできていた夕食、豊である洗濯物、他愛のない会話など、何も考えていなかった小さな出来事の積み重ねが、生活の安心や豊かさになっていったような気がする▼私は、今まで恥ずかしながらもお米を研いだことも、炊いたこともない生活を送ってきた。実家暮らしの時には母親に甘え、結婚後は妻に甘えて生きてきた▼病氣や事故、あるいは人生の選択によって、突然、自分がすべてやらなくてはならない状況が訪れる。まったく考えていかなかった状況、何をどうすればいいのか▼今まで当たり前だったことを改めて考えさせられる。今になって、自分の無力さに気づかされ、親せきや仕事の仲間の方々に助けてもらいながら、なんとか今を生きている。本当に「感謝」でしかない▼またいつの日かふつうの生活に戻った時、今の気持ちや忘れられることなく自分なりにがんばって前を向いて行こうと思う▼みなさんも当たり前のことに、改めて少し考えてみてはどうでしょうか。

(さすらいのパパ)



てんじんくらぶ



再生紙を使用しています